

リース・ジョーンズ氏 設計×松山英樹プロ 監修 太平洋クラブ御殿場コースの改修の全てを網羅した “FIELD NOTES” ついに完成！

全110ページ！全ホール解説つき！2,000冊限定！

2021年USマスターズ覇者、松山英樹プロが理想とするゴルフコースとは？

株式会社太平洋クラブ(本社：東京都千代田区、代表取締役社長 韓 俊 以下、太平洋クラブ)は、太平洋クラブ御殿場コース(静岡県御殿場市、以下、御殿場コース)の改修に関するすべてを纏めた書籍“Taiheiyo Club GOTEMBA Course Field Notes”を、太平洋クラブ創立50周年となる2021年5月20日(木)に発行。太平洋クラブ各コース他にて発売します。

改修：リース・ジョーンズ氏



原設計：加藤 俊輔氏



監修：松山 英樹プロ



写真家：宮本 卓氏



御殿場コースは、2018年に、2001年以来17年ぶりとなる全面改修を竣工しました。

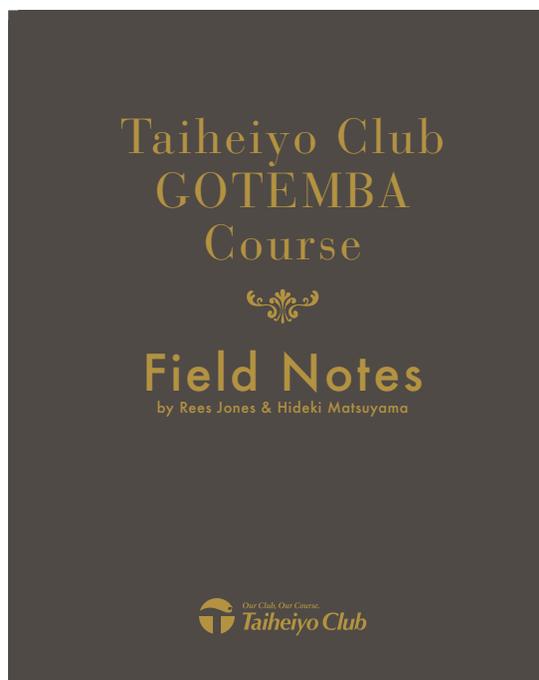
この改修に背中を押すきっかけとなったのが、2016年「三井住友VISA太平洋マスターズ」にて松山英樹プロが23アンダーという大会レコードで優勝した際、「日本のツアーレコードを意識していた」という発言でした。この時、太平洋クラブ代表取締役社長の韓は「御殿場コースに新たな舞台を作り上げ、国際水準のトーナメントをしよう」と決断したのです。コース改造といえば難度ばかりを上げる風潮の中、“Restoration=現状復元”を理念にした考えを尊重する、世界的ゴルフコース設計家のリース・ジョーンズ氏の名が浮かびました。ジョーンズ氏は全米オープン会場を7か所、PGAチャンピオンシップの会場を9か所、ライダーカップの会場を6か所など、220以上のゴルフコースを設計及び改造。メジャー競技の為のコース改造を数多く手がけたため「オープンドクター」と称されています。

ジョーンズ氏が御殿場コースを訪れた際、「御殿場コースはルーティングが素晴らしい。そして富士山の借景も見事だ」と述べ、「さらにチャレンジングなホールロケーション(ピンポジション)を追加することが可能」だと判断しました。そんな原設計を活かしたコース改修で名高いジョーンズ氏を、コース改修の設計に迎え入れることができました。

一方、いまのUSPGAツアーと日本のツアーの両方を経験するトッププレーヤーは松山英樹プロしかいないことを確信し、監修を依頼。「アマチュア時代とプロとしての2度優勝を飾った、思い入れのある好きなコースを、ジョーンズ氏の改修でどのようになるのか。また、自分の意見が他のツアープレーヤーにどう影響するのか、ワクワクしました」と快諾。こうして、2人の天才により、御殿場コースは世界に誇れる国際水準のトーナメントコースへと生まれ変わりました。

本書籍は御殿場コースの改修後にフォーカスし、リース・ジョーンズ氏と松山英樹プロが御殿場コースを見て何を思ったのか、どのような狙いで改修したのか、ホールバイホールで解説。ゴルフフォトグラファー・宮本卓の美しい写真とともに、原設計家の加藤俊輔の開場当時の想いや太平洋クラブ会員の声なども掲載。これまで明かされなかった御殿場コース改修の全てを網羅した一冊です。

この度2,000冊限定にて発売します。太平洋クラブ各コースにて先行販売する他、7月下旬よりゴルフダイジェスト社通販サイト、都内大手書店、amazon、楽天ブックス等でお買い求めになれます。



Taiheiyo Club GOTEMBA Course Field Notes

- 概要:110ページ / A5判 / カラー
- 発行:株式会社太平洋クラブ
- 発売:ゴルフダイジェスト社
- 売価:6,000円(消費税込)

ゴルフダイジェスト通販サイト

<https://www.g-pocket.jp/>

リース・ジョーンズ | Rees Jones



リース・ジョーンズは、父に有名なゴルフコースの設計家のロバート・トレント・ジョーンズSr.を持つ、ゴルフ設計家の家庭に生まれました。若い頃からゴルフプレーを学び、ジュニアゴルファーとして競技に出場。エール大学とハーバード大学で学んだ後、父の設計会社のもとで多くの実践経験を積み独立。1974年に故郷のニュージャージー州、モントクレアに本社を置く、ゴルフ場デザイン会社「リース・ジョーンズInc」を設立しました。1988年の全米オープン開催に先立ち、マサチューセッツのザ・カントリークラブを改造して注目され、以来、全米オープンのみならず、全米プロ、ライダーカップ、ウォーカーカップ、プレジデントカップ開催のコース改造を手がけてきたことで“オープン・ドクター(the Open Doctor)”と称されています。これまで北米・海外で225以上のゴルフコースの新設または改造設計をしています。

<主な受賞内容>

2013:アメリカゴルフ場設計者協会ドナルドロス賞 / 2012:ニュージャージースポーツライター協会殿堂

2015:北カリフォルニアゴルフ協会殿堂 / 2014:アメリカゴルフ場造成協会ドン・A・ロッシ賞

2012:ロバートモーゼルマスタービルダ賞 / 2004: トム・モリス賞のゴルフコース監督賞などを受賞

<主な改修・改造コース>

ベスページ・ブラックコース / コングレッショナルCC / トーリーパインズ / ザ・カントリー・クラブ

バルタスロールGC / アトランタスレチッククラブ / ヘイゼルティン・ナショナルゴルフクラブ/メダイナCC #3など

松山 英樹 | Hideki Matsuyama



ゴルフを始めたのは4歳。血液型はB型。石川遼とは同学年で、ジュニア時代から凌ぎを削ってきました。2010年のアジア・アマチュア選手権(香港:クリアウォーターベイ/姉妹提携クラブ)で優勝。11年のマスターズで27位に入り、日本人初のローアマチュアに輝きました。同年の三井住友VISA太平洋マスターズを制し、倉本昌弘、石川遼に続き3人目のアマでのツアー制覇を達成し13年にプロへ転向。14年からは米国を主戦場とし、ザ・メモリアルトーナメントで初優勝。16-17シーズンではWGC-HSBCチャンピオンズを皮切りに、ヒーロー・ワールドチャレンジ、ウェイストマネジメントフェニックスオープン、WGC プリチストンインビテーションショナルと同一シーズンで4勝を挙げた。2021年に4大メジャートーナメントの一つ、マスターズを制覇し、日本人男子初の快挙という歴史的な優勝を遂げました。



太平洋クラブ御殿場コース | Taiheiyo Club Gotemba Course

ゴルフ雑誌や経済誌などが実施するゴルフ場人気ランキングで常に上位にランクインする御殿場コース。

2020年1月にはアメリカのゴルフダイジェストが発表した国別のベストコースランキングに於きまして御殿場コースが国内第5位と、大変高い評価をいただきました。

日本の象徴でもある富士山を絶好の角度で仰ぎ見ることのできるロケーションに18ホールが配置されています。「三井住友VISA太平洋マスターズ」の舞台として、そして2001年には「WGC EMCワールドカップ」の舞台ともなったことから、ワールドワイドのスケールで知名度も高まっています。

世界中から注目される速いスピードのグリーンを実現するトーナメントを開催し続けていることで、日本のゴルフ場のメンテナンスにおけるリーダー的存在ともなっています。トーナメント中継の映像を通して、日本中のゴルファーの心の中に「一度はプレーしてみたい」という憧れを抱かせているのでしょう。



■コース概要

所在地：静岡県御殿場市板妻941-1 代表番号：0550-89-6222

アクセス：御殿場I.C.より約9km、JR御殿場駅よりタクシーで約15分、JR三島駅よりタクシーで約40分

開場日：1977年4月26日

コース情報：18ホール／7,327y／Par72／JGAコースレーティング 74.2

コース原設計：加藤俊輔

コース改修設計(2018年)：リース・ジョーンズ

コース改修監修(2018年)：松山英樹プロ

コース詳細：<http://www.taiheiyoclub.co.jp/course/gotemba/index.html>

■書籍販売に関する問い合わせ

株式会社太平洋クラブ 企画部 広報担当 磯部/平田 TEL03-5219-8190

株式会社ゴルフダイジェスト社 販売マーケティング部 堀 TEL03-3431-4669